

普及活動検討会実施報告書

(大崎) 農業改良普及センター

実施月日：令和7年9月2日

実施場所：JA加美よつば営農センター

1 検討内容

No	検 討 項 目
	【現地検討】 (プロジェクト課題 No. 2 関係) ・ さつまいもほ場、キュアリング施設の視察 【活動検討】 (室内) (1) 令和7年度普及指導計画の概要 (2) 令和7年度プロジェクト課題の進捗状況 (3) 意見交換

2 検討委員の構成

(単位：人)

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者	1	生 活 者	
若手・女性農業者		学識経験者	
市 町 村	1	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント、評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「色麻町の地域 計画実現に向け た担い手の経営 発展」	4.0	・ 高収益作物 (園芸) への取組が、補助金対策で終わる事が無い様に願う。 ・ 「高齢化によるリタイアの増加」、「受け手となる経営体の労力の限界・後継者不足」は色麻町だけではなく、全ての地域における課題に対し、今後、加速的に進むであろう乾田直播栽培の取組や法人化の支援に着目し、取り組まれていることは評価できます。これらの取組が、色麻町だけでなく、大崎地域へと広がりを見せていただきますよう期待します。 ・ 地域の担い手組織に対する高収益作物や新技術の導入による経営支援の意義は大きいと感じます。取組に対する関係機関の支援、連携も図られており、乾田直播栽培ではその技術が立証された感があります。さつまいもについても今後の収穫後の成果に期待したい。	・ 水稻の乾田直播栽培については、大崎市内でも取り組まれており、農業者の関心が高まっている。技術交流を図りながら、また移植栽培との作業労働時間・コストの比較を行い、メリットを明確にしたうえで、管内の大規模稲作農家等を中心に普及拡大を図っていききたい。 ・ 清水集落営農組合に対し、法人化や機構集積協力金の申請が計画通りに進むよう助言を行うとともに、法人設立後も組織運営や農地集積が円滑に行われるよう、継続して支援を行う。 ・ また、高収益作物の生産・販売については、法人設立後も継続して行われるよう、引き続き関係機関と連携しながら技術・経営支援を行っていく。

プロ課題 No. 2 「加美地域におけるさつまいもの新たな産地形成に向けた生産技術の確立」	4.0	・売り先に困らない野菜なので、栽培マニュアルの確立を願う。 ・さつまいもの産地化を目指し、地域特性を考慮した栽培マニュアルを作成し取り組んできた中で、記録的な少雨と高温など、様々な問題に直面した年だったと思います。しかし、この異常気象は今後も起こりえると思いますので、それに対応したマニュアルの改訂、対応策の検討を引き続きお願いします。 ・新たな作物による産地形成を活動計画に設定することは非常に有効だと考えます。計画期間が6～7年度の2カ年であり、栽培技術の確立には期間が短いと感じるため、今後も継続した技術確立の検証を望みます。	・本プロジェクト課題は加美地域の基本となるさつまいもの栽培技術を確立するものであり、今後の作付拡大に伴い生じる新たな技術的課題にも対応していく必要があると考えている。 ・地球温暖化の影響により、今後も今年の夏のような異常気象が起こる可能性が考えられるため、加美地域版のさつまいも栽培マニュアル（改訂版）に夏季の高温・少雨の技術対策を盛り込む。 ・さつまいもは国内外から高い需要があり、今後も管内におけるさつまいもの生産は拡大していくと考えられるため、プロジェクト課題完了後も、JA等の関係機関と連携し、継続して栽培技術支援を行っていく。
プロ課題 No. 3 「中山間地農業の核となる農産物直売所の組織運営能力向上」	4.0	・町からの、宣伝活動への補助を要請したら？ ・令和5年、令和6年と販売額が伸びていることが、取組の成果として評価できます。気になる点としては、組合員数の減少です。農産物直売所は新鮮な農産物が数多く揃わっていることが大切だと思いますので、JAとも協力のもと、伸ばす手法の検討に取り組んでいただきたいと思います。 ・課題は直売所運営組織の運営能力低下ではあるが、昨今の農村社会構造の縮図のような難しい計画課題と考えます。法人形態の変更も行うようですが、キーマンとなるプラビラボや若手農業者の育成や活躍の場の創設による組織運営への参画に期待します。	・専門家派遣事業を活用しながら、新商品の開発や販売アイテムの充実、魅力的な売り場づくりなど、来客数の増加に向けた取組を行っていく。 ・令和9年度の株式会社化に伴い、プラビラボのメンバーをはじめとした若手組合員が経営の中心となるよう、次世代の担い手の育成を推進する。 ・あわせて、加美町やJA等の関係機関と連携しながら、新規就農者や移住者などの新たな組合員の発掘や、周辺観光施設と連携した宣伝活動などの検討を行う。
プロ課題 No. 4 「若手農業者の経営発展に向けた水稻乾田直播栽培技術の定着」	4.0	・地域への広がりが考えられる。 ・乾田直播栽培、営農管理システムの導入と、これからの土地利用型農業には欠かせない取組だと思います。これらの取組が、他の法人、若手経営者に広まっていくことを期待します。 ・営農活動において経験の少ない若手農業者をターゲットにした技術指導となっており、これらの取り組みによって技術の習得や交流機会の創出に期待できるものと思います。	・担い手の減少による農地の集積・集約化の進展に伴い、乾田直播栽培等の省力化技術や、経営管理の効率化を実現する営農管理システムのニーズは、今後ますます高まっていくと考えられる。 ・そのため、農業法人や大規模稲作農家、若手農業者等を対象に、導入のメリットを提示しながら、これら技術の普及拡大を図っていく。

その他		・ 農業者の目線で指導されている事を評価します。 ・ 優良事例については、農業者と共有していただき、普及する取組を引き続きお願いします。 ・ また、これらの取組を進める上で、行政ができる支援など、お気づきの点がありましたら教えていただきたいと思います。	・ 今後も現場のニーズを的確に把握するとともに、市町やＪＡ等の関係機関と地域の課題を共有しながら、プロジェクト課題や重点活動等を通して農業者支援を行っていく。 ・ 優良事例については、研修会や各種資料などにおいて、農業者への周知と普及拡大を図る。
-----	--	--	--

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する